



大日電機株式会社

2024年度環境経営レポート

(対象期間：2023年10月～2024年 9月)



発行日：2024年11月25日

環境経営方針

I. <経営理念>

大日電機株式会社は、本業である電気工事の設計施工を通じて、経営における課題とチャンス定期的に明確化し、地球温暖化問題への取組みや地域の環境活動を自主的・積極的に実践し、環境経営の継続的改善に取り組めます。

<行動指針>

1. 環境関連法規制や当社が約束したことを遵守いたします。
2. 二酸化炭素排出量の削減
電力とガソリン・軽油・灯油の節減により二酸化炭素の発生を抑制し削減します。
高効率蛍光灯、LED照明等の省エネルギー型照明器具に切り替えるようにします。
3. 廃棄物の削減とリサイクル
一般廃棄物の削減を推進します。
産業廃棄物の適正管理及びリサイクルを推進します。
4. 水使用量の削減
節水に取り組めます。
5. 化学物質使用量の削減に関する事項
化学物質の適正管理を推進します。
6. 電気工事の環境配慮
太陽光発電を提案します。
使用する製品をLED照明器具や、省エネタイプのを提案します。
7. その他の環境活動
地域のボランティア活動等に積極的に参加し、協力や支援を行います。

制定日：2013年 6月 1日

改定日：2024年 11月 25日

代表取締役 松永 浩

取組の対象組織・活動

II. 組織の概要

(1) 名称及び代表者名
大日電機株式会社
代表取締役 松永 浩

(2) 所在地
本 社 〒671-1141 兵庫県姫路市大津区西土井289番地の19
第一資材倉庫 〒671-1144 兵庫県姫路市大津区長松101-1
第二資材倉庫 〒671-1227 兵庫県姫路市網干区和久2-1

(3) 環境管理責任者及び担当者の部署・役職と連絡先
責任者 工務部 次長 TEL: 079-237-0014
担当者 工事部 次長 FAX: 079-236-6544
Email: dainichi.28919@green.ocn.ne.jp

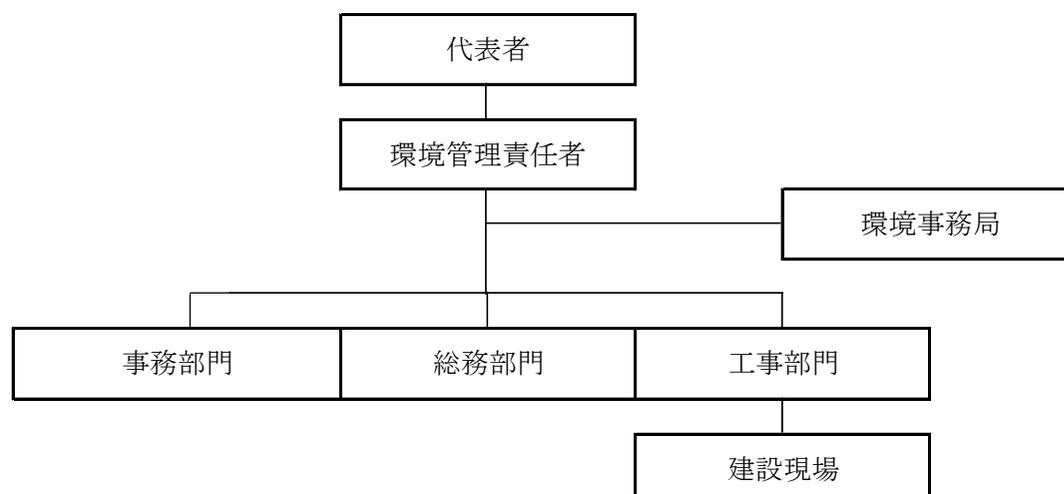
(4) 事業内容
電気工事業
許可番号 兵庫県知事許可(特-3)第454275号 許可年月日 令和3年10月20日
許可期限 令和8年10月20日

(5) 事業の規模
売上高 1.5億円 (2024年度実績)

各事業所の規模

	本 社	第一資材倉庫	第二資材倉庫	合 計
従業員	14名	—	—	14名
延べ床面積	140㎡	150㎡	52㎡	342㎡
敷地面積	315㎡	150㎡	602㎡	1067㎡

(6) 取組体制
組織図



役割・責任・権限	
代表者	<ul style="list-style-type: none"> ・環境経営に関する統括責任 ・環境経営システムの実施に必要な人、設備、費用、時間、技能、技術者を準備 ・環境管理責任者を任命 ・環境経営方針の策定・見直し及び全従業員へ周知 ・環境経営目標・環境経営計画書を承認 ・代表者による全体の評価と見直しを実施 ・環境経営レポートの承認 ・課題とチャンスの明確化
環境管理責任者	<ul style="list-style-type: none"> ・環境経営システムの構築、実施、管理 ・環境関連法規制等の取りまとめ表を承認 ・環境経営目標・環境経営計画書を確認 ・環境関連の外部コミュニケーションの窓口 ・緊急事態対応手順のテスト、訓練の指導及び総括 ・環境活動の取組結果を代表者へ報告 ・環境経営レポートの確認
環境事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・環境管理責任者の補佐・環境教育訓練計画の作成と実施の管理 ・環境負荷の自己チェック及び環境への取組の自己チェックの実施 ・環境経営目標、環境経営計画書原案の作成 ・環境活動の実績集計 ・環境関連法規制等取りまとめ表の作成、遵守評価の実施 ・環境教育訓練計画の作成と実施の管理 ・特定された項目の手順書作成（緊急事態への対応を含む） ・環境経営レポートの作成、公開（事務所備付け地域事務局送付）
各部門長	<ul style="list-style-type: none"> ・自部門における環境経営システムの実施 ・自部門における環境方針の周知 ・自部門の従業員に対する教育訓練の実施 ・自部門に関連する環境経営計画の実施及び達成状況の報告 ・特定された項目の運用管理 ・緊急事態対応手順のテスト、訓練を実施、記録の作成 ・自部門の問題点の発見、是正、予防処置の実施
建設現場 (工事責任者、社員)	<ul style="list-style-type: none"> ・建設現場における環境経営システムの実施 ・工事担当者及び協力会社員に対する教育訓練の実施 ・建設現場の環境活動計画の実施及び達成状況の報告 ・緊急事態対応訓練の実施、記録の作成 ・建設現場での問題点の発見、是正、予防措置の実施 ・環境経営方針の理解と環境への取り組みの重要性を自覚 ・決められたことを守り、自主的・積極的に環境活動へ参加

(7) 事業年度

2024年度(2023年10月～2024年9月)

Ⅲ. 認証・登録の対象組織・活動

登録組織名： 大日電機株式会社

対象事業所： 本 社
第一資材倉庫
第二資材倉庫

活 動： 電気工事業

IV. 主な環境負荷の実績

項目	単位	2022年度 基準年度	2024年度	2023年度	2022年度	2021年度
二酸化炭素排出量	kg-CO ₂	29,588	22,956	30,188	29,588	18,355
電力使用量	kWh	9,522	9,962	9,302	9,522	8,975
ガソリン使用量	L	9,110	7,246	10,629	9,110	5,119
軽油使用量	L	909	399	697	909	416
灯油使用量	L	483	306	324	483	326
廃棄物排出量	kg	6,677	1,855	2,090	6,677	4,621
一般廃棄物	kg	45	35	45	45	45
産業廃棄物	kg	6,632	1,820	2,045	6,632	4,576
水使用量	m ³	125.6	93.3	134.2	125.6	129.2
化学物質使用量(キシレン他)	kg	1.85	3.73	0.00	1.85	21.65

V. 環境経営目標及びその実績

(1) 中期目標

項目		年度	2022年度 基準年度	2024年度	2025年度	2026年度	2027年度
I. 二酸化炭素 排出量削減	kg-CO ₂		29,588	27,813	27,517	27,221	26,925
	対基準			△6%	△7%	△8%	△9%
電力使用量削減	kWh		9,522	8,951	8,855	8,760	8,665
	kg-CO ₂		4,847	3,885	3,613	3,574	3,535
	対基準			△6%	△7%	△8%	△9%
ガソリン 使用量削減	L		9,110	8,564	8,473	8,382	8,290
	kg-CO ₂		21,151	19,882	19,671	19,459	19,248
	対基準			△6%	△7%	△8%	△9%
軽油 使用量削減	L		909	855	846	837	828
	kg-CO ₂		2,387	2,243	2,220	2,196	2,172
	対基準			△6%	△7%	△8%	△9%
灯油 使用量削減	L		483	454	449	444	440
	kg-CO ₂		1,204	1,132	1,120	1,107	1,095
	対基準			△6%	△7%	△8%	△9%
II. 廃棄物排出量削減							
1) 一般廃棄物 削減	kg		45	42	42	41	41
	対基準			△6%	△7%	△8%	△9%
III. 建設リサイクル率 の向上	%		75%	76%	77%	78%	79%
	対基準			+1%	+2%	+3%	+4%
IV. 水使用量 削減	m ³		125.6	124.3	123.1	121.8	121.0
	対基準			△1%	△2%	△3%	△4%
V. 電気工事の環境配慮 エコ材料の採用、LED照明の提案	件		6	7	8	9	10
	対基準			+1件	+2件	+3件	+4件
VI. 社会貢献	件		1	1	1	1	1
	対基準			100%	100%	100%	100%

(注1) 電力の二酸化炭素排出係数は、

関西電力(株)公表2022年度、調整後排出係数値0.434kg-CO₂/kWhを使用した。

(注2) 建設リサイクル率の算出式 建設リサイクル率 = 再生資源化量 / 産業廃棄物排出量

(注3) 化学物質は、少量使用のため削減目標の対象外として、適正管理とした。

(2) 環境活動の取組結果の評価

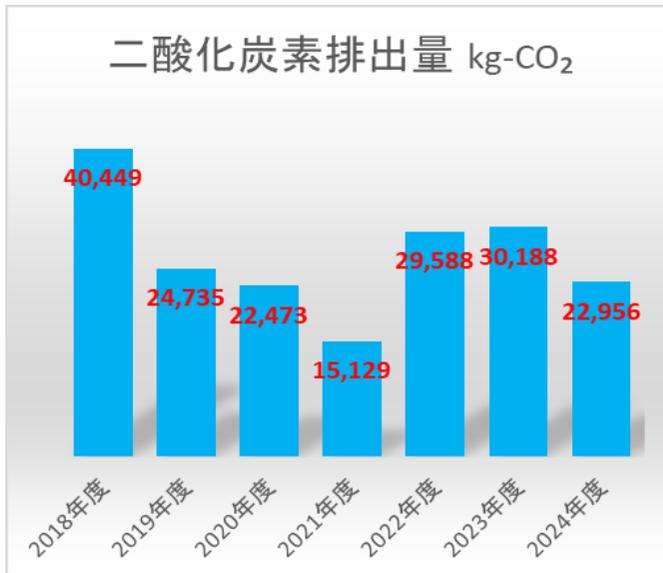
項目		年度	2022年 10月～9月	2024年度		
			基準値	(2023年10月～2024年9月)		評価
			当年度目標	実績値	達成度%	
I. 二酸化炭素 排出量削減	kg-CO ₂	29,588	27,142	22,956	118%	○
	対基準		△6%	△22%		
電力使用量削減	kWh	9,522	8,951	9,962	90%	△
	kg-CO ₂	4,847	3,885	4,324		
排出係数 0.434			△6%	△11%		
ガソリン 使用量削減	L	9,110	8,564	7,246	118%	○
	kg-CO ₂	21,151	19,882	16,822		
			△6%	△20%		
軽油 使用量削減	L	909	855	399	214%	○
	kg-CO ₂	2,387	2,243	1,048		
			△6%	△56%		
灯油 使用量削減	L	483	454	306	148%	○
	kg-CO ₂	1,204	1,132	763		
			△6%	△37%		
II. 廃棄物削減						
一般廃棄物 削減	kg	45	42	35	121%	○
	対基準		△7%	△22%		
III. 建設リサイクル率 の向上						
	%	75	76	74.3	98%	△
	対基準		+1%	△1%		
IV. 水使用量 削減						
	m ³	125.6	124.3	93.3	133%	○
	対基準		△1%	△26%		
V. 電気工事の環境配慮						
	件	6	7	14	200%	○
	対基準		+1件	+8件		
VI. 社会貢献						
	件	1	1	1	100%	○
	対基準					

注1) 達成度欄にて、削減を目指す場合は、達成度＝目標÷実績×100%、増加を目指す場合は、達成度＝実績÷目標×100%

注2) 評価欄にて、○：達成（100%以上）、△：やや未達成（80%～100%未満）、×：未達成（80%未満）

注3) 電気工事の環境配慮：①環境に配慮した工法の開発、提案、②環境にやさしい資材の採用、③長寿命の資機材への切替え

各項目取組結果



昨年に比べ減少しています。取組を継続する。



気温変化によるエアコンの使用時間の延長で増加になりました。取組は継続する。



受注形態によりかなり減少しました。



昨年度に比べ乗合強化の取組みにより減少している。

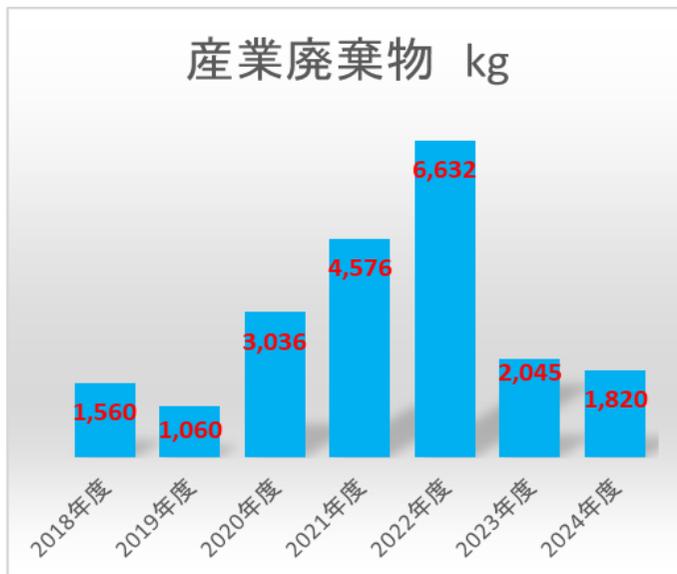


無駄な時間・温度管理の徹底に取組みました。昨年より減少しました。

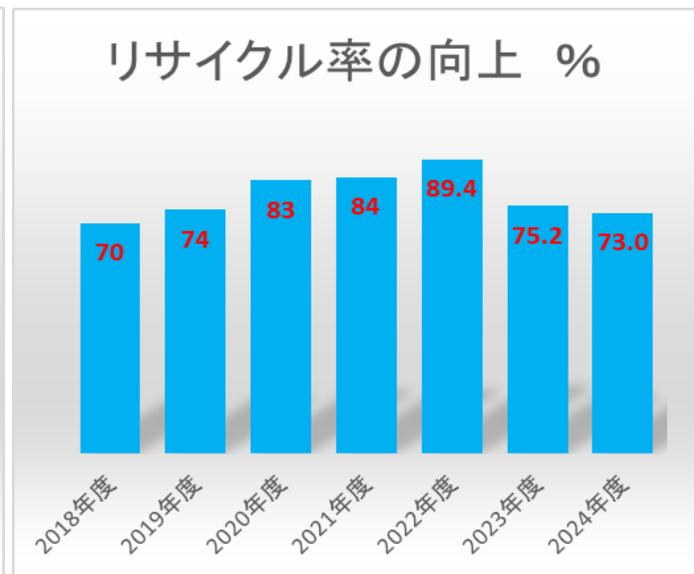


リサイクルの分別とコピー用紙の裏面活用等で昨年同様削減につながった。

各項目取組結果



元請工事の受注形態により変動しますが、
分別の取組は出来ている。



リサイクルの推進に取り組んでいます。



昨年に比べ減少になりました、引続き取組を
継続していくように。

VI. 環境経営計画及び取組結果とその評価、次年度の環境経営計画

◎よくできた(10%以上) ○まずまずできた(0~10%) △あまりできなかった(0~-5%) ×全くできなかった(-5%未満)

取組み計画	達成状況	評価結果と次年度の環境経営計画
二酸化炭素排出量の削減 (やや未達成)		
(下記の通り)	○	(下記の通り)
電力使用量の削減 (やや未達成)		
・空調の適温化(冷房28度、暖房20度)	△	来季は適温化の意識を、高め徹底する。
・不要照明の消灯	◎	不要照明の消灯を徹底する。
・パソコン、未使用時は電源を切る	○	省電力モードで不要時は電源を切る。
ガソリン使用量の削減 (未達成)		
・アイドリングストップの徹底	○	エコドライブの取組みを実施する。
・急発進、急加速、急停止の禁止	○	安全運転の徹底に努める。
・計画的な運行ルートと効率的な移動	○	来季も継続して取組みを行う。
軽油使用量の削減 (目標達成)		
・移動式クレーン車の空ふかしの禁止	○	エコドライブを継続する。
・アイドリングストップの徹底	○	待機時のエンジン停止を徹底する。
灯油使用量の削減 (目標達成)		
・室内温度の適正化	○	室温、換気の管理を行う。
・不在時点火の制御	○	無人時の消火の徹底。
一般廃棄物の削減 (目標達成)		
・分別によるリサイクルの推進	○	市の分別に沿って分別を行う。
・ミスコピーの防止	○	印刷プレビューの活用。
・事務所内は裏紙の活用	○	排出量の削減に努める。
建設リサイクル率の向上 (目標達成)		
・工事現場での分別の徹底	△	今後も積極的な取組みを実施する。
・リサイクル可能な処理業者への委託	◎	来季も継続して委託する。
水使用量の削減 (やや未達成)		
・節水の周知徹底	○	来季、節水の取組みを徹底する。
・清掃時・手洗い時の節水	○	より多くの工夫をし、節水を徹底する。
化学物質使用量の削減 (目標達成)		
・適切な維持管理	○	決めた場所に適切に保管する。
電気工事の環境配慮 (目標達成)		
・工事分野別の技術・ノウハウの収集	○	各工事分野の環境配慮工法の調査を継続する。
・太陽光発電を提案していく。	○	今後も積極的な取組みを実施する。
・LED照明器具や、省エネタイプの提案	○	今後も積極的な取組みを実施する。
社会貢献 (目標達成)		
・地域清掃への参加	○	来季も継続して取組みを実施する。

Ⅶ. 環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果並びに違反、訴訟等の有無

法的義務を受ける主な環境関連法規制は次の通りである。

適用される法規制	遵守する事項	遵守評価
廃棄物処理法	都道府県知事の許可を受けた業者に産業廃棄物の運搬または処分を委託する。 マニフェストを交付し、毎年交付状況を報告する。 運搬及び処分の終了を返送マニフェストで確認し、これを5年間保存する。	遵守
建設リサイクル法	発注者への計画書と完了報告書提出	遵守
建設業の再生資源利用省令	再生資源、建設工事副産物の再利用 再生資源利用計画書、実施記録の作成	遵守
自動車NOx・PM法	規制対象車両の登録禁止、規制対象車両の指定地域通行禁止	遵守
オフロード法	特定特殊自動車排出ガスの排出を抑制	遵守
消防法	消火器の点検	遵守
フロン排出抑制法	解体工事における該当機器の有無確認、発注者への説明 発注者に書面説明・写し保管(3年)	遵守
家電リサイクル法	特定家庭用機器(テレビ、冷蔵庫、エアコン等)の適切な廃棄・処理委託	遵守

環境関連法規制等の遵守状況の評価の結果、環境関連法規制等は遵守されていることを確認しました。

なお、環境法規制等への違反、訴訟、環境上の苦情等も過去3年間(2022年度～2024年度)ありませんでした。

Ⅷ. 代表者による全体の評価と見直し・指示

今年度、各項目において基準値と目標値の未達成がある。

- ・電気使用量が1月から9月にかけて増加しています。
今年もコロナやインフルエンザ等対策の換気と、厳冬・猛暑の異常な気候変動によるエアコンの使用時間の延長がありました。
今後は気候変動に応じ効率的な運用を考えていかなければならない。
- ・自動車燃料使用量は、昨年からの受注形態により目的地が変わり、今年度は目標値・基準値を達成している。
来期も引続き、低燃費車両の活用と多人数での乗合移動を実践し継続して取組を行うように。
- ・灯油の消費量は、11・12月増加したが全体的に目標値を大幅に下回り達成できている。
夏の暑さ対策と同様、効率的な暖房を考え取組んでいくようにする

今後も目標を達成出来るように環境活動を意識し社員と共に実践しエコアクション21に取り組んでいきます。

項目	見直し可否	見直し内容
環境経営方針	否	—
環境経営目標	否	—
環境経営計画	否	—
実施体制	否	—
その他	否	—

2024年 11月 8日
代表取締役 松永 浩

IX. 環境への取組の紹介



< 廃棄物の分別（処分状況現地確認） >



< エコアクション掲示 >



< 対応訓練 >



< 資格取得・更新のため研修会参加 >



< 環境配慮の施工（LED照明） >



< 社会貢献クリーンアップひょうご >